



「希望」だより

〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL & FAX 043-421-6645

E-mail : kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jpHP : <http://kibou-donguri.org>

グループホームだんらんの朝食・夕食・お弁当

食卓に笑顔あり



家庭菜園をされているご近所から
野菜をいただくことしばしば。ありがとうございます。
ありがとうございます。

だんらんでは、特別な献立ではありませんが、できるだけ手作りで温かいお食事をお出しすることにこだわっています。それは、もしも、心が穏やかではない時でも、少しでも心が楽になれば嬉しいと思いまして。そして、世話人(食事を作る職員)は、「美味しい」と言われると、作り甲斐がある、家族にはなかなか言ってもらえないから(笑)などと冗談?を言って笑わせてくれます。(^~)_U~~

精神障がい・精神疾患 ご家族のための

おしゃべりサロン

日 時 11月13日(水)・12月11日(水)
いずれも 15:30~17:00

場 所 どんぐり工房
四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

対象者 精神障がい・精神疾患のある方の
ご家族

参加費 100円 (お茶・お菓子)
お問合せ 043-421-6645

ここにお集まりの皆様に、気兼ねなくお話しをしていただき、お互いの経験から得た創意工夫など、情報共有をしていただく場になればよいと思っております。

※プライバシーは保護いたします

心の病気について知る

～シリーズ 精神疾患 (1)～

◇◇ 統合失調症 ◇◇

統合失調症は、こころや考え方などがまとまりを欠いた状態になる病気です。そのため行動や気分、人間関係などに様々な影響が出ます。100人に1人くらいがかかるといわれていて、それほど珍しい病気ではありません。早めに治療するほど症状が重くなりにくいといわれているので、早期発見と早期治療が大切です。

出典 (厚生労働省 HP・心の病気について知る)

厚生労働省/統合失調症 で検索

地域活動支援センターどんぐり工房

～市役所・イベント販売までの流れ～

メンバー（利用者）の
「やってみたい」「これならできそう」の思いを
大切にして、みんなでチャレンジしています

商品作成



メンバーご自身でデザインを考え、生地を選び、制作されている商品もたくさんあります

ミシンが苦手というメンバーは、職員に手ほどきを受けながら、ゴム通しなどもします



いろんな味の、クッキーも作っています

今では珍しい
『数珠の実』を
使ったお手玉も
作っています

値札付け

これ、いくらなら
うれるかな？
（～♪）

商品に、手書きの値札を
つけます

販売陳列



売り子担当のメンバーと
職員で商品を並べます
売り上げは、
メンバーの工賃（給料）に
反映されます

販売表記入



並べる商品が決まつたら、
「販売表」に記入します。

商品選別



みんなで選んで、販売ブース
に並べる商品を決めます

～今後のイベント販売予定～

10月5日(土) よつかいどうユニバーサル工業フェスタ2024

※雨天6日(日)に順延(四街道工業団地協同組合敷地内)

10月26日(土)・27日(日) 旭ヶ丘オータムフェスティバル

11月2日(土) よつかいどう共栄フリーマーケット ※雨天3日(日)に順延

11月16日(土)、ちばユニバーサル農業フェスタ2024

※市役所販売 毎月第1・3火曜日 午前11時～午後1時半

ただし、新庁舎開設に伴い、10月は販売休止 11月から再開

ボッチャ大会の結果

9月14日(土)四街道市立
中央小学校で開催された
ボッチャ大会で、どんぐり
工房メンバーのHチームは
準優勝でした！

会場はとっても暑かったの
ですが楽しい時間でした

八

新美南吉の絵本を何冊か読んでみて、わいわいと和歌といつむのがあぬといつてこた姉の言葉を思って出した。「お姉さん」とこの人に頼み一冊の和歌集を取り出しつづけた。万葉集とこののだれりだ。とにかくつたことを白状した。

「あんた、本がわからまよ」

「漢字が読めないんだ、ひらがなで書いてあるからね」

「ひらがなの本は絵本しかないな、学校で勉強しながらやね」

「わいわい図書館の図本をぐるぐる回ってみた、みんな漢字混じりである。」

「何故漢字がこんなに多こんかね」

「漢字のたつた一文字に意味があるの、それが読んでやわらつか」

「わいわい私は注意を傾け聞いてみた、ひらがながいくら聞いてもわざわざの気がない。「お姉さん」とこの人は笑っていた。

「これが判るやうにならぬのは中学生ぐらくなつてからかしいな、この本には解説も書かれているから借りてみぬ、あゝ、駄目か、小学生にならなうと借りれなかつたんだつか」

せいかく読む気になつたのに申し訳ないね、と言わされたけれど、われなりと万葉集の何篇かを読んでわいわい、解説まで教えてもらつた。数編を平仮名で

書かれて家まで持つて帰つた。

早速姉たちに話してみた、ひんな一通である。
かんなものをおわざばこいばこのにいれた
わざをのむべくあめりこ
「べべ、良く調べたものだね」

余りに驚かれるので図書館の「姉ちゃん」に教えてもらつたことを白状した。

「なんだ、職員に教えて貰つたのか、漢字でなこと読みづらいやのだね」

下の姉はがつかりしたよつてある。

「経験して知つたじつでなこやのを物語れ」とよつて濁つた酒を飲むべやのとこりんかい、濁つた酒つて濁つた酒のじじかね」

「ねたねたねなこじを貰ひてやれ、酒を飲む」

は一〇年早こよ」

親はまた嘆いた。

「こゝかい、酒なんか自分で稼がるやつになつてか

い飲むべきものだ、お前の年で酒を迷つねなんと判つた」

「酒の話ばかりじゃない、わい一通あるよ、それ、

たびどとのやどりこせぬのこじせぬがさうは

わがいはくわあぬのたゞぬり

「じんなもんかね」

「まだ漢字は書けないのかい」

母親はわいわい始めて姉たわは面白がつて紙を覗いた。

「べべ、遣唐使隨員の親の詩か、哀しい詩だね」

「なんだこ、それ」

「なんなことも知りやうし書こられたのかい」

親は『風塵りがしたうじこ』。

「遣唐使のお供をして遠方おど出でこつた者の身を察じた母親が書いた詩だよ、一度と故郷へ戻れない身を心配し、天に祈ねむかつだつたわいわ」

「なんだこ、そんな遠く国に流されたんか、出世じやばせやうだね」

「此隊に取りれたよつたやのわ」

母親はなぜか語氣を強めた。

「お前はまだ命を知らなうね、お前が国から出隊して

なれと言われたうじうかねだこ」

「なにこの歳が年なむさべ」

「その歳りあ口は呑かね食うやうせりだぬ

「そんないおつかないものかね」

「あゝ、国のやういとなんか血も涙もなづみ」

「私等が生あれたいはまだ戦時中でね、お母れ

たちは苦労をしたんだつて、生れいだぬかどうかも

判らなかつたつて、そのいはを私たわは憶えてこな

いわれど」

「じゃあ、今まやせぬ」

「誰の入れ知恵だこ」

「図書館の姉ちゃん」

「新作が地獄に落ちたり闇魔様に早速呑を呑つて抜

かれぬね」

姉たちは笑つた。

「なんで地獄に落ちたり呑はせぬうんたこ、悪い

ことでもやつたつて言ひやうかい」

「新作はもとやなじみやうしてこつて地獄の」

「今どいじや」

精神に障がいのある方へ

NPO 法人 希望 地域活動支援センターⅢ型

どんぐり工房

のご紹介

「-----」
お家から
「-----」
一歩外へ
「-----」
出ませんか
「-----」

どんぐり工房でゆったりとした時間を過ごしてみませんか…

様々なプログラムを用意しています。

やってみたいことがあれば、ぜひご参加ください。



これら以外にゲームをしたり（オセロ・トランプ・ジェンガ・ダイヤモンド等）
絵を描いたり何もしないでゆったりと過ごすことも可能です。

見学大歓迎

地域活動センター どんぐり工房

開所日 月～金曜日

（土・日・祝祭日お休み）

開所時間 午前9時30分～午後3時

一日の利用定員 15名

アクセス：四街道駅北口 徒歩5分

連絡先：四街道市四街道 1-6-11 田中ビル3F

TEL・FAX：043-421-6645

会員募集

私たち「希望」は、精神に障がいを抱える方々
に対して、保健・福祉の向上を図る事業を行い、
障がい者が地域で自立して生活できるように
支援することを目的として活動しています。

本会の目的にご賛同いただける方・団体は、
どなたでもご入会いただくことができます。

個人正・賛助会員・2,000円/年

団体正会員・・・2,000円/年

団体賛助会員・・・5,000円/1口

詳細はQRコードから

HPをご覧ください。



グループホームだんらん

定員 6名（令和6年10月現在満室）

アクセス：バス停 茶屋の作 徒歩8分

所在地：四街道市栗山 886

TEL・FAX：043-312-9870